



【乳児期の遊びの特徴】

子どものおもしろがっている事柄というのは、子どもの発達と関係しています。その時、その時期に出来ること、その時その時期に分かることがおもしろいのです。子どもの様子を見ながら、関わりながら発見していくと楽しい子育てになると思います。乳児期の遊びの特徴をいくつか紹介します。

＜0歳児の特徴＞

- ◎なんでもなめる・・・手で物が持てるようになると、口で物を確かめるようになります。唇の筋肉を鍛えたり、舌の筋肉を育てたりします。
- ◎お座りをする・・・大人と同じ視点で物を見る事が出来るようになります。目を動かし首を振って動くものを追っかけることが出来ます。
- ◎小さい物をつまむ・・・8ヶ月ぐらいから親指と他の指を向かい合わせることが出来るようになります。つまみでは口に運びます。
- ◎箱をひっくり返す・・・9ヶ月ぐらいから箱の中に物を入れて中を覗き込み、取ろうとします。これは、見えないけれども扉の向こうに何かがあるとわかってきます。

＜1歳児の特徴＞

- ◎自信のかたまり・・・1歳から1歳半の間は、人間の基本的な仕草がだんだん出来るようになります。重い物を押ししたり、持ち上げたりすることが好きです。
- ◎なんでもポイポイ・・・1歳ぐらいから、上手に握った物を離せるようになり、意図的に前に投げることが出来るようになります。
- ◎ちらかす・・・ちらかすことが大好きです。籠を運んだり、ひっくり返したりします。積み木をつぶすことも好きです。何回も繰り返すつぶすことで、積むことを知ります。
- ◎入ったり出たり・・・安定して歩けるようになると色々な所に登ったりしたがりです。階段登り等身体を使って目標を乗り越える遊びすると、自信や自尊心を育みます。

＜2歳児の特徴＞

- ◎器用な手・・・2歳になると器用になり、右手と左手とが別々の仕事をして1つのまとまった仕事出来るようになります。例えば、トングで物をつかむ、はさみを使って1回切りをします。
- ◎ことばの力・・・まねごとが盛んになり、言葉を覚え沢山話します。言葉は人間関係を築く上で必要になり言葉を使ってイメージの共有が出来るようになります。
- ◎ドタバタの遊び・・・自分の身体に自信があり、それをフルに使う動的な遊びが好きです。ジャンプしたり高い所から飛び降りたりクルクル同じ場所で回ったりすることが出来るようになります。

～遊びの特徴を見つけるポイント～

1. 何を楽しんでいるのか。
2. 喜んだことを繰り返し遊ぶ。
3. 喜んだことを一緒に喜ぶ。
4. その子なりの成長プロセスを見守り、機嫌よくお付き合いしていく。

今回の特徴は、おおよその目安や遊びを見つけるヒントです。発達や遊びにも個人差があります。周りと比較して早い、遅いと気にしないで下さい。



今回は、「幼児期の遊びの特徴」をお届けします。

参考文献：三学出版
『発達を育む
赤ちゃんのおもちゃ』
岩城 敏之著